



平成30年1月4日 大ホールにおいて。

私たちの理念

心が通い、信頼される医療

私たちのめざす医療

1. 皆さまの権利とプライバシーを尊重します。
2. 十分な説明と同意のもとに、最新かつ安全なチーム医療を行います。
3. 地域に開かれた病院として、健康と福祉の向上に努めます。
4. 確かな医療技術と豊かな人間性を備えた医療人を育てます。

Kurume University Medical Center
久留米大学医療センター

〒839-0863 福岡県久留米市国分町 155-1

☎ 0942-22-6111 (代)

<http://iryo.kurume-u.ac.jp>

Contents

新 年のごあいさつ

プ ライマリ・ケアを実践する医師を育てる

転 倒予防川柳

院 内コンサートが開催されました

グ ラウンドを設置しました

久留米大学創立90周年 「医療センターの未来を拓く」

病院長 廣松 雄治



新年明けましておめでとうございます。今年も久留米大学創立90周年を迎えます。医療センターでは、医療環境の変化に対応すべく、2015年に大きな変革を行いました。すなわち大学病院との機能分化を図りました。そしてようやくその成果が実りはじめています。先進漢方治療センターでは西洋医学をベースに漢方医学を融合した先進的な医療を提供しています。精神科、内科、循環器科、内分泌科、婦人科、泌尿器科、小児外科、皮膚科の専門医が漢方医学の専門医を習得し診療に当たっています。整形外科・関節外科センターでは、医師やスタッフを増員して、地域包括ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟とも連動して、スポーツ傷害の診療の充実を計りました。今では多くのスポーツ選手が受診されています。学生の受診のために夕方の診療も一部開始しています。内分泌代謝内科も眼科と同日に甲状腺眼症の診療を行っています。甲状腺癌、内分泌疾患や糖尿病の診療にも取り組んでいます。足病変(フットケア)・皮膚潰瘍治療外来も長期の入院加療が必要な患者の診療にも対応しています。総合診療科、プライマリ・ケアセンターでは診断がつかずにお困りの患者の診療や地域との連携や橋渡し医療にも力を入れています。また循環器科ではカテーテル治療から心臓リハビリテーションや心不全の治療、消化器科では肝炎の治療や内視鏡検査、プライマリ・ケアセンターとの協働など活性化しています。リウマチ・膠原病センターでも患者と多職種のスタッフとの「リウマチの集い」を開催し、診療の充実を計っています。小児科も急性期から慢性期まで地域に密着した診療を推進し、夕方の診療や病児保育などにも対応しています。今年も医療保険や介護保険の見直しや新専門医制度の発足、地域包括ケアシステムへの対応など変革が続きますが、職員一丸となって叡智をもって医療センターの未来を拓いていく所存です。今年も皆様の温かいご指導、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

医療センターは地域とともに

看護部長 井上 久子



新年明けましておめでとうございます。医療センターは、今年24年目を迎えます。高度な医療の提供とともに地域に密着した特長ある病院として歩んでまいりました。平成29年4月よりプライマリーケアセンターが開設され、病名がわからず、様々な症状でお困りの方々が数多く受診され、新たな診断名が付き治療が可能となっています。総合診療医が中心となり、各専門の診療科とともにチームとしての動きが活発になってきました。また、看護部では、看護の質を高めるために看護部及び院内認定看護師の育成を行なっています。現在までにHOTN(おうちへの思いをつなぐナース)、DOTN(認知症患者さんへの思いをつなぐナース)、FOTN(足への思いをつなぐナース)、JSEN(関節外科エキスパートナース)が誕生しました。また、昨年12月には、HOTNを中心に、第1回の「かたらん会」を開催し、日頃より連携をしている施設の方々との意見交換を行ないました。今後は臨床から、患者さんが暮らす地域へ向けての働きかけをさらに強化していきたいと思えます。私事ではございますが、本年3月をもちまして定年退職をいたします。これまでの皆様からの御指導、ご鞭撻に感謝申し上げますとともに、今後も引き続きの御支援を賜りますようお願い申し上げます。

医療センターだからこそできる医療

事務部長 佐多 慎輔



新年明けましておめでとうございます。久留米大学医療センターでは、平成27年4月より久留米大学病院との機能分化(分担)を推し進めてきました。その結果、新しく開設されたフットケア(足病変・皮膚潰瘍治療)・総合診療科は地域の医療に浸透し、さらに漢方医学と西洋医学の各長所を組み合わせ、新しい発想で治療する先進漢方治療センターも診療科を増やしながらかつてきました。このように診療体制を変化させながら、平成29年4月にはプライマリ・ケアセンターも開設し、10月には地域包括ケア病棟を10床増加させ40床にしました。地域包括ケア病棟は在宅復帰を支援する病棟であり、安心して治療を受けて頂けることと思えます。また、近年整形外科領域においてはスポーツ障害にも力を入れており、プロ・アマ問わず多くのスポーツ選手が治療に訪れており、手術のみならず、適正なりハビリを行うことにより速やかに復帰して頂けるようスタッフ一同連携を取りながら治療を行っております。今後も、「医療センターだからこそできる医療」の提供とともに、更なる地域医療への貢献として改革をおこなっていく次第です。引き続き、皆さまのご理解とご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

医療センターに総合診療科が開設されてもうすぐ丸二年になります。至らないところも少なくなかったと思いますが、地域の多くの方々に支えられながら、多様な症状、健康問題を抱える方々の診療を行ってまいりました。全ての方々に感謝いたします。ありがとうございました。



さて、日々の診療に加えて、医療センター総合診療科の使命の一つとしてプライマリ・ケアを実践する医師を育てることがあります。プライマリ・ケアでは、患者一人一人、家族の話を傾聴し、その思い、背景、文脈を理解しながら、患者・家族と一緒に健康問題について考えていくことを重視します。そのためには患者・家族との信頼関係が不可欠ですが、本当の意味で信頼関係を築くには時間がかかります。時間をかけて良好な関係を築きながら、継続的に診ていくことを大事にします。

それから、高血圧、糖尿病等の生活習慣病に対する診療や救急・病棟診療に加えて、予防医療やリハビリテーション、介護、そして人生の最終段階を迎えたときの医療等、地域の医療専門職の間でしっかりと連携を取りながら、包括的に提供することもプライマリ・ケアの特徴の一つです。看護師、薬剤師、栄養士、リハビリテーション専門職、ソーシャルワーカー等、様々な職種との医療専門職と協力していくことがプライマリ・ケアを実践する医師に求められます。

このようなプライマリ・ケアを実践する医師を一人でも多く育てるため、総合診療科では久留米大学医学部の学生教育に積極的に関わっています。特に外来診療の実習に力を入れており、医学部5年生がスタッフの監督の下、日々、実習に励んでいます。学生実習にご協力いただいている患者様、ご家族の方々に對してあらためてお礼を申し上げます。

来年度には、地域の様々な診療所・クリニック、訪問看護ステーション、リハビリテーション施設、薬局等の方々にご協力いただき、6年生を対象とした在宅医療・訪問診療の実習を予定しています。患者一人一人や家族の生活により重きを置いた在宅医療・訪問診療の現場で体験実習を行うことは、高度先進医療を行う大学病院で殆どの時間を過ごす学生にとって大きな刺激となることでしょう。地域全体でプライマリ・ケアを実践する医師を育てる第一歩として、私たちもこの実習を楽しみにしています。

最後に、日々の診療をしっかりと実践することが、一番の医学教育になると考えます。これまで以上に多くの方々と関わりながら、地域密着型の医療を実践していく所存です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

医療安全管理対策委員会では、平成29年度の医療安全推進週間活動として「転倒予防川柳」を職員から募集しました。11月10日から11月30日の期間、表彰作品を外来通路に展示して患者さんやご家族にご覧いただきました。親しみやすい川柳を通じて、転倒予防に関心を持っていただき、患者さんの転倒が少しでも減ることを願っております。

病院長賞

看護師を呼ぶの ためらう…

でも呼んで

四階東入院棟 看護師

「このくらい大丈夫と思って…」 「わざわざ呼ぶのは悪いし…」 転倒された患者さんから、このような言葉を伺うことが多々あります。ナースコールをためらわれる時も、気兼ねなく看護師をお呼び下さい。

医療安全管理対策委員長賞

歳かさね

転ばぬ先の くっ運び

臨床検査室 検査技師

スリッパやサンダルは脱ぎ履きしやすいのですが、つまずいたり滑ったり、バランスが崩れやすいなど転倒の原因にもなっています。高齢者の方はすり足で歩きがちなため、つま先を少し反り上げる等、転びにくい靴も販売されるようになりました。入院中は、足にフィットし、かかとを履く靴を履いて頂くようお勧めしております。

リスクマネジメント部長賞

君の手は…

持って安心！ 手すり棒

医療連携室 事務職員

歩行の安定や方向転換、便座からの立ち上がりなど様々な場面で手すりが助けとなります。昨年、大ヒットしたアニメ映画「君の名は…」になぞらえて、手すりを患者さんの「体と心の支え」として役立てて頂きたい、という思いを詠んだ一句です。

看護部長賞

ハッとせず

すぐに動かず ひと呼吸…

手術室 看護師

高齢者に限らずミドルエイジの転倒が増えているという報告も労省があります。「急ぐ・慌てる」ことで転倒のリスクは高まります。急に立つと、起立性低血圧をおこして倒れる場合もあります。まずは、ひと呼吸…。周囲や足を確認してから動きましょう。

事務部長賞

眠刺で

眠ると「足」も眠ってる

三階東入院棟 看護師

睡眠薬は、適切に用いることで良質な睡眠や休息につながります。途中で目が覚めたり朝スッキリしない時に、足に力が入らなかつたり心がつくこともありますので、「ご注意ください」。睡眠薬の中には、高齢者が内服すると転倒しやすい薬もありますので、医師や薬剤師に「相談ください」。

医療安全対策室賞

「少しだけ…」

つもりのよそ見が 事故まねく

リハビリテーション部 理学療法士

「他のことに気をとられて」「よそ見をしたあと急に方向転換したら」「携帯を見ながら歩いていたら」「チョッとのもちが、まさかの転倒！」周囲の状況を判断しにくくなるのが原因ですので、前を向いて歩きましょう。

院内コンサートが開催されました

平成29年12月23日(天皇誕生日)に、久留米大学医療センタースタッフ有志による院内クリスマスコンサートがエントランスホールにて開催されました。

今年も多くのお客様やそのご家族の方でホールがいっぱいになりました。およそ1時間にわたり定番のクリスマスソングや「ふるさと」「明日があるさ」「365日の紙飛行機」などを披露いたしました。また、リハビリスタッフによる「笑点のテーマ」に乗せたダンスも披露され、会場一体となり大いに盛り上がりました。

お集まり頂いた患者さん、ご家族の皆様に厚く御礼申し上げます。

また、年末のお忙しい中、準備や片付けなどのボランティアとして参加して下さいました方々、ご協力頂いた皆様に心より感謝致します。



会場の様子

グラウンドを設置しました

平成29年9月にリハビリテーションセンター横にグラウンドが完成しました。グラウンドにはマウンドを設置し、ピッチャーの投球練習が可能であり、他にも多くの競技練習が可能となりました。

平成20年に当院の関節外科センターが開設し、徐々にスポーツ選手のリハビリが増加していく中、トレーニングにおいて屋内での指導では限界があり実践的な動作指導が必要になりました。これまでに野球・サッカー・アメリカンフットボール・ラグビー・テニス・競輪など多くの競技種目において、プロからオリンピック候補や学生などのリハビリを行っています。競技復帰が近くなると実際の競技に必要なパフォーマンスを確認する上でグラウンド上でのリハビリが効果的であり、適切な指導が行えます。

今後多くのスポーツ選手に対するリハビリが予想されるため、リハビリスタッフも自己研鑽に励み、有効にグラウンドを使用しながら選手の競技復帰を応援したいと思います。



| 診療科名 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---------------------------|--|---|---|---|--------------------------------------|
| 総合診療科 | 向原圭 茂木恒俊 | 向原圭 茂木恒俊 | 向原圭 茂木恒俊 (第1・2) | 向原圭 茂木恒俊 | 向原圭 茂木恒俊 (第3・4) |
| プライマリ・ケア | 内田信治 | 内田信治 | | 内田信治 | |
| 消化器内科 | 杉山元 久賀征一郎 | 緒方啓 | 杉山元 | 消化器内科担当医 藤田博正 | 緒方啓 久賀征一郎 |
| 循環器内科 (睡眠時無呼吸外来) | 甲斐久史 加藤晴仁 原山晴仁 加藤宏晴 原山和伯 | 甲斐久史 新山路和伯 | 甲斐久史 加藤宏 柴田怜 | 原山晴仁 新山路和伯 | 加藤宏晴 藤田博正 原山和伯 |
| 禁煙外来 月・火 (予約制) | 甲斐久史 (午後) | 甲斐久史 (午後) | | | |
| 内分泌代謝内科 | 廣松雄治 江口洋幸 中山宗敏 島崎直夫 吉田直夫 | 廣松雄治 江口洋幸 中山宗敏 島崎直夫 | 廣松雄治 河野聖子 鮎川竜祐 | 廣松雄治 佐々木侑子 山崎聡士 若崎大直 吉田直夫 | 江口洋幸 中島宗敏 若吉直夫 松本久美 (午後) |
| リウマチ・ 膠原病センター | 中山宗敏 島崎直夫 吉田直夫 | 中山宗敏 島崎直夫 | | 山崎聡士 若崎大直 吉田直夫 | 中島宗敏 若吉直夫 松本久美 (午後) |
| 呼吸器内科 | 平岡裕樹 (午前) | | | | |
| 小児科 | 大津永憲 津中憲 大升中 | 大津寧子 山口紀子 | 大津永憲 津中憲 | 升永憲 田中聡 治子 | 大津永憲 津中憲 大升中 (第2午後) |
| (専門外来) | | | | | 小児成人病 |
| 精神科 | 山田英孝 | 山田英孝 (午前) | | | 山田英孝 |
| (もの忘れ外来) (予約制) | | 山田英孝 (午後初診) | | 山田英孝 (午前・午後 再診) | |
| 先進漢方治療センター | 午前・午後 予約制 恵紙英昭 (漢方精神科・内科) | 午前・予約制 (漢方精神科・内科・産婦人科) 恵紙英昭 駒井幹 午後・予約制 (漢方精神科・内科) 恵紙英昭 沈龍佑 | 午前のみ (女性外来・漢方内科 ・循環器科) 上松章子 第3午後のみ・予約制 (漢方皮膚科) 清川千枝 (恵紙英昭) | 午前のみ (漢方内科・小児科) 薬師寺和昭 午後のみ (女性外来・漢方内科) 亀尾順子 (漢方泌尿器科) 黒川慎一郎 | 午前・予約制 (漢方精神科・内科) 恵紙英昭 |
| 整形外科・ 関節外科センター (午前) | 大川孝浩 久米慎一郎 田淵幸祐 石橋千直 木内正太郎 | 本多弘一 江崎佑平 | 大川孝浩 後藤昌博 光井康博 石橋千直 | 野口幸志 田淵幸祐 木内正太郎 江崎佑平 江木正太郎 (予約制) 稗田寛 (第2・予約制) | 久米慎一郎 光井康博 野口幸志 本多弘一 |
| (午後) (予約制) | | 樋口富士男 (予約再診のみ) | | 野口幸志 田淵幸祐 江崎佑平 江木正太郎 (予約制) 稗田寛 (第2・予約制) | 後藤昌史 (予約制) |
| リハビリテーション科 | 名護健 | 荻野美佐 | 柳東次郎(第1・3) 馬場敦子(第2・4) 野山めぐみ(第5) | 大本将之 | 外来担当医 |
| 皮膚科 | 荒川正崇 | | 荒川正崇 野口正典 (完全予約制・再診のみ) | 荒川正崇 | 荒川正崇 |
| 泌尿器科 | | | | | |
| 眼科 | 大学病院非常勤医 (午前のみ・完全予約制) | | | 大学病院非常勤医 (午前のみ・完全予約制) | |
| 足病変(フット7)・ 皮膚潰瘍治療外来 | 井野康 | 井野康 | 姉川美奈 (午前のみ) | 井野康 | 井野康 |
| 放射線科 | 大学病院非常勤医 (午前) 内田政史 (午後) | 内田政史 | 大学病院非常勤医 | 内田政史 | 内田政史 |
| 病理診断科 (セカンドオピニオン外来) | 山口倫 (午後のみ・完全予約制) | | 山口倫 (午後のみ・完全予約制) | | 山口倫 (午後のみ・完全予約制) |
| がんワクチン外来 (午前) | | 伊東恭悟 由谷茂 | 由谷茂 内野馨博 | 織田慶子 吉山康一 | 伊東恭悟 由谷茂 内野馨博 |
| (午後) | | 伊東恭悟 野口正典 古賀紀子 | 由谷茂 末金茂高 河野光一郎 唐宇飛(隔週) 高尾優子 | 織田慶子 守屋普久子 古賀紀子 大園秀一(第1・3・5) 中川慎一郎(第2・4) | 伊東恭悟 由谷茂 |

受付時間：午前8時30分～午前11時 診療日：月～金 麻酔科：術前診療のみ(予約制) 休診日：土・日・祭日・年末年始・盆休(8/15)

編集後記

2018年、あけましておめでとうございます。

今年の干支は、戌年(いぬどし)、元気に「ワン♡ワン♡ワンダフル」な一年にしたいものですね。みなさん、ご存知の通り、2025年にむけて大幅な診療報酬・介護報酬ダブル改訂があり、また10月には病院機能評価の受審が予定されています。医療センターは更なる躍進が求められています。チーム医療センター力を大いに発揮して、この正念場を乗り切っていきましょう。2018年、スタッフみなさんが健康で、充実した一年を迎えられますように祈願して。(F. M.)